

1 施設の概要等

施設名	広島県立障害者リハビリテーションセンター		
所在地	東広島市西条町田口295-3		
設置目的	障害者に対する医療、訓練その他の更生援護を行い、その福祉の増進を図る。		
施設・設備	医療センター（病院）、若草園（医療型障害児入所施設、医療型児童発達支援センター、障害福祉サービス（療養介護））、若草療育園（医療型障害児入所施設、障害福祉サービス（療養介護））、あけぼの（障害者支援施設）、スポーツ交流センター（身体障害者福祉センターA型）		
指定管理者	3期目	H28.4.1～R8.3.31	（社福）広島県福祉事業団
	2期目	H23.4.1～H28.3.31	（社福）広島県福祉事業団
	1期目	H18.4.1～H23.3.31	（社福）広島県福祉事業団

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	3期	R4～R8	—	—	—
R3		146,607人	112,181人	△13,282人	△34,426人(76.5%)
医療C		105,351人	86,042人	△7,004人	△19,309人(81.7%)
若草園		入所 39人 通所 4人	入所 35人 通所 5人	入所 △5人 通所 △1人	入所 △4人(89.7%) 通所 1人(125.0%)
療育園		入所 53人	入所 53人	0人	0人(100.0%)
あけぼの		入所 47人 日中 53人	入所 48人 日中 51人	入所 2人 日中 1人	入所 1人(102.1%) 日中△2人(96.2%)
スポ交		41,060人	25,947人	△6,275人	△15,113人(63.2%)
R2		195,948人	125,463人	△59,850人	△70,485人(64.0%)
R1		207,258人	185,313人	△13,888人	△21,945人(89.4%)
H30		207,651人	199,201人	△8,729人	△8,450人(95.9%)
H29		206,883人	207,930人	9,416人	1,047人(100.5%)
H28		200,055人	198,514人	20,137人	△1,541人(99.2%)
2期平均 H23～H27		—	178,377人	△7,997人	—
1期平均 H18～H22		—	186,374人	1,137人	—
H17(導入前)	—	185,237人	—	—	
増減理由	○新型コロナウイルス感染症による利用者の自粛などによる減 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スポ交閉館(5/12～6/21, 7/31～9/30, 1/9～2/20)及び利用制限による減 ○新型コロナウイルス感染症による利用減を考慮した目標値を設定				

### 3 利用者ニーズの把握と対応

調査 実施 内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	若草園の利用者等に満足度調査を実施 若草療育園の利用者等に満足度アンケート 調査（自由記述）を実施	対象：家族 回答 27 人 対象：家族 回答 21 人
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	職員対応には満足しているという意見が多 かった。 コロナ禍で面会等の制限があり、本人や施設 内での様子を知りたい。	サービス処遇、接遇研修等を行い、職員の資質向上に取り組 む。 リモートによる面会の実施や行事の写真を保護者へ送付する など利用者の様子を伝えられるように努めた。

※新型コロナウイルス感染症の影響（感染経路の不明等）から病院部門等では実施できなかった。

### 4 県の業務点検等の状況

項 目		実績	備 考
報告書	年度	○	事業報告書，決算報告書等
	月報	○	利用実績等
	日報（必要随時）	—	
管理運営会議（3回）	<b>【特記事項等】</b> ・会議及び現地調査を実施 <b>【指定管理者の意見】</b> ・事業計画書に基づき，適切に業務を実施 ・老朽化施設の円滑な改修等の整備が必要 <b>【県の対応】</b> ・適切に管理運営が実施されていることを確認 ・必要な整備を着実に進行。		
現地調査（5回）			

### 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度				年度			
		金額	対前年度増減			金額	対前年度増減	
県委 託料 (決算額)	3 期	R4～R8	—	—	3 期	R4～R8	—	—
		R3	213,063	8,976		R3	3,367,598	△58,495
		R2	204,087	△29,750		R2	3,426,093	△99,422
		R1	233,837	△26,868		R1	3,525,515	34,030
		H30	260,705	31,409		H30	3,491,485	△39,682
		H29	229,296	△2,853		H29	3,531,167	85,867
		H28	232,149	△18,300		H28	3,445,300	352,169
	2 期平均 H23～H27	250,449	△76,262	2 期平均 H23～ H27	3,093,131	349,591		
	1 期平均 H18～H22	326,711	△3,110,595	1 期平均 H18～ H22	2,743,540	215,875		
	H17（導入前）	3,437,306	—	H17（導入前）	2,527,665	—		

## 6 管理経費の状況

(単位:千円)

項 目		R3 決算額	R2 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	213,063	204,087	8,976	移転業務委託料の増
		料金収入	3,367,598	3,426,093	△58,495	利用料金制(※1) 利用者数減に伴う医療収入の減
		その他収入	124,312	109,304	15,008	感染拡大防止支援等補助金の増
		計(A)	3,704,973	3,739,484	△34,511	
	支出	人件費	2,387,144	2,406,893	△19,749	職員数減に伴う人件費の減
		光熱水費	192,842	179,186	13,656	燃料費及び電気の単価増
		設備等保守点検費	123,830	123,490	340	医療機器保守料の増
		清掃・警備費等	207,519	132,044	75,475	給食委託費及び移転業務委託料の増
		施設維持修繕費	27,832	20,864	6,968	空調等修繕費の増
		事務局費	892,550	961,003	△68,453	診療材料購入の減, 電子カルテリース料金の減, 県納付金の減
		その他	0	0	0	
	計(B)	3,831,717	3,823,480	8,237		
	収支①(A-B)		△126,744	△83,996	△42,748	
自主事業(※2)	収入(C)	25,619	20,408	5,211	短期入所利用者数の増	
	支出(D)	11,398	11,808	△410	消耗品等購入の減	
	収支②(C-D)	14,221	8,600	5,621		
合計収支(①+②)		△112,523	△75,396	△37,127		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。  
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用發揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	利用者の方に治療・リハビリ・社会復帰までの一貫した支援サービスの提供を行った。	治療や診察, リハビリを行う県の中心的医療機関として機能を發揮している。
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	広島県障害者スポーツ協会と連携し, 普及啓発イベントの開催等障害者の社会参加の促進や競技力の向上など様々な障害者スポーツ支援を行ったが, 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催できない事業もあった。	協会事務局をスポーツ交流センター内に設置しており, 障害者スポーツ振興に寄与している。
	○業務の実施による, 施設の利用促進	多様化する障害児(者)の医療・福祉のニーズに対応するために, 診療・訓練及び処遇体制の充実・強化を図った。	多様化する障害児(者)の医療・福祉のニーズに応えるべく, 積極的な取組をしている。
	○施設の維持管理	各施設の修繕や機器の故障等については, 随時, 県と協議を行い対応した。	施設・設備の定期的な点検を行うなど, 適正に運営管理されている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	外来・各部署が連携を強化し, 医療サービスの継続及び各病棟の病床稼働率向上に努めた。	組織の連携強化等により, 医療サービス及び病床稼働率の向上に努め, 適正な運営体制をとっている。
	○効率的な業務運営	院内物流管理システム(SPD)の運用により, 効率的かつ適切な医療消耗備品等の在庫管理に努めた。	院内物流管理システム(SPD)の運用など, 業務の効率化に取り組んでいる。
	○収支の適正	経営指標に係る資料を作成し, 各部署に伝達することにより, 全職場における経営意識の向上を図った。	種別や機能が多岐にわたる当該施設において, 各部署に経営意識の向上を図り, 全体的な取組に繋げる努力をしている。
総括		<p>地域医療, 地域福祉への貢献を目指すため, 外来・各部署が連携を強化し, 医療サービスの提供及び各部署の病床稼働率向上に努め, 中・長期的な視点で検討を行っている。</p> <p>また, 業務の効率化を図ることにより, 収支の適正化を図っている。</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響から事業の縮小や利用者が利用を控えたことから前年度よりも管理運営面において厳しい状況であった。</p>	<p>県立社会福祉施設として, 地域の医療福祉の中核的役割を果たし, また, 組織の連携強化を図り, 中長期的な視点を持ってサービス向上に努めている。</p> <p>令和2年度に引き続き, 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が見受けられており, 今後も業務の効率化等を図り, 収支の改善に努める必要がある。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和4年度)</p>	<p>医療・福祉人材の確保に努めるとともに、職員が早期離職しない職場環境づくりに努める。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響の中、利用者の安全を確保しつつ、医療・福祉サービスを提供していく。</p> <p>わかば療育園の移転に伴う整備事業が実施されるなか、利用者に支障の出ない支援体制を整備していく。</p>	<p>利用者のニーズに対応したサービス提供体制の整備・充実に向け、人材確保の取組の工夫や魅力ある職場づくりの推進等に取り組む必要がある。</p> <p>安定的な医療・福祉サービスの提供や効率的な運営に努めつつ、県立施設として果たすべき専門的・先駆的機能の更なる発揮に努める。</p>
<p>中期的な対応</p>	<p>診療・訓練及び処遇体制の充実・強化を図るため、人材確保に努める。</p> <p>障害者総合支援法等に沿った事業展開及び施設運営を検討する。</p> <p>機能強化及び療養環境改善に向けた施設整備事業が実施設計段階から建築段階に入っており、円滑な工事実施や工事中の支援体制の確保に向け、課題の整理や工事完了後、利用者によりよいサービスが提供できる組織体制等を検討する。</p>	<p>利用者ニーズ等を踏まえつつ、総合的な施設としての機能をより効果的に発揮するための運営体制等について検討する必要がある。</p> <p>施設の老朽化等による療養環境の改善と更なる機能強化に向けて、施設整備を推進し、指定管理者をはじめとする関係者との連携を深め、円滑な事業実施に努める。</p>